

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

学校におけるプロジェクトの実施方法

Description of the Project

(プロジェクトの概説：今後本プロジェクトにおいて、どのような活動を展開しようとしているのか、その概要やテーマを具体的に記述してください。また、これまでの活動実績を記述するのも効果的です。)

・旧甚目寺町は、1999年に「人権尊重の町」の宣言を行った。本校も地域と同じように人権教育に重点を置き、地域を活動の場とする教育を行ってきた。「豊かな心を持ち、いきいきと活動する子の育成」を目指して、人権教育年間指導計画を作成し、全教育活動で実施してきた。

・総合的な学習の時間では、「人とのかかわりの中で、互いを認め合い、よりよい考え方をめざしてともに活動していく力を育むこと」を目指して、3年「福祉」、4年「環境」、5年「産業・キャリア」、6年「歴史・文化」をテーマに学習してきた。福祉実践教室、環境学習の出前授業、甚目寺の伝統産業、甚目寺観音を中心とした歴史・文化の学習などを行ってきた。

・本校は2010年度よりESDに取り組み始め、2011年度に人権教育や生活科・総合的な学習の時間を中心に、これまでの指導計画や学習内容の見直しを行った。ESDカレンダー、生活科・総合的な学習の時間の年間指導計画、ESD関連指導計画の作成を通して、教材や各教科等を内容的につなげること、人や地域とつなげること、身に付けた能力・態度を行動につなげることを大切にする学習指導を計画立案し、実践できるようになってきた。また、子どもたちには自尊感情やコミュニケーション力の高まりが見られるようになった。

・今後は、10年経っても教職員が入れ替わっても本校の取組が続いていくように、毎年度ESDカレンダー、生活科・総合的な学習の時間の年間指導計画の見直しはもちろん、身に付けたい能力・態度の評価規準の作成と見直し、児童意識調査の継続的实施によるESDの学校評価の蓄積をしていく。また、体験型の学習活動をさらに増やし、福祉施設の訪問、グリーンカーテン作り、伝統産業の体験、伝統行事への参加などを行っていく。

Objectives of the Project

(プロジェクトの目的：ここでは前述のプロジェクト概要を踏まえて、それぞれの活動をどのような意図で実施するのか、どのようなことを生徒ができるようになることを目指しているのかなどを具体的に記述してください。)

・本校のESD活動テーマは、「つながろう人 つなげよう甚目寺 ～かかわる つたえる つながる」である。このテーマは、本校が「人権」と「ふるさと」に重点を置いて展開していることを示している。そして、「現代社会の様々な問題が、人と人とがお互いの考えをもって話し合い、その考えをすり合わせていくことで解決・改善に向かうこと」、「話し合いで考えをすり合わせるためには、自他を認め、権利を尊重し合って、つながり合おうとすること」を大切にする人を育てていくことだけでなく、甚目寺のすばらしさに気付かせることによって、持続可能なふるさとの担い手を育てていくこともねらいとしている。

・学習指導で重視する能力・態度を、「批判的に考える力」、「未来像を予測して計画を立てる力」、「多面的、総合的に考える力」、「コミュニケーションを行う力」、「他者と協力する力」、「つながりを尊重する態度」、「進んで参加する態度」の7つとし、これらを子どもに身に付けさせたい能

力・態度とする。学習指導において単元の目標や授業の目標に、これらから付加したり関連付けたりすることで、E S Dの視点に立った学習指導を展開していく。

Execution

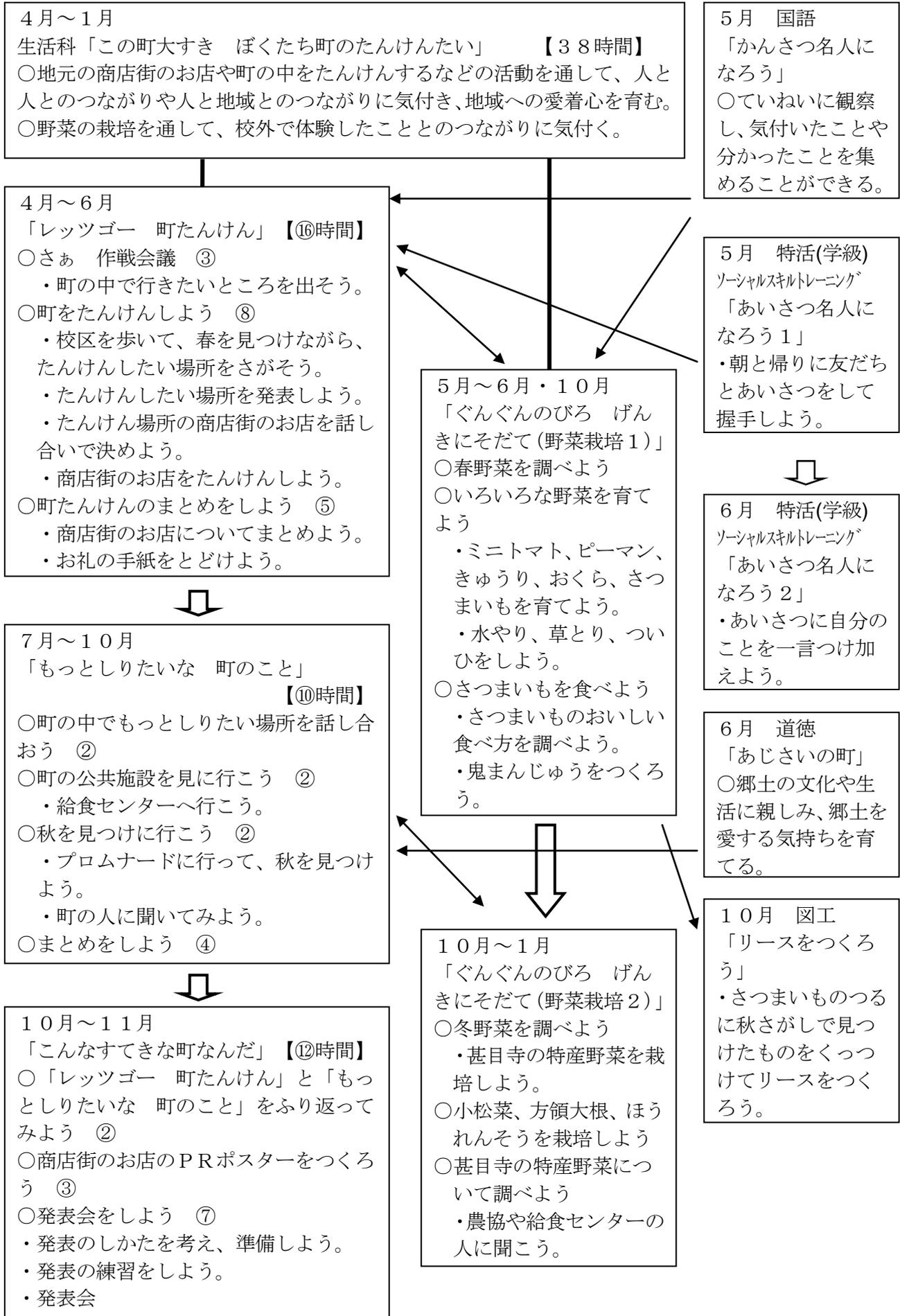
(プロジェクトの実施：特別のコースを通じて、既存のコースを通じて、または、課外活動として、どの学年で行うのか、年間スケジュールはどうなっているのかなど、具体的に記述してください。可能であれば年間カリキュラムを簡略化してご記述ください。)

・生活科および総合的な学習の時間の活動テーマと学習のねらい

学年	学習活動名	学習のねらい
1	いちねんせいになったよ	学校という新しい環境のなかで、身近な人やものに積極的にかかわり、安全でたのしく過ごす。
	さあ みんなででかけよう	安全に気をつけて、遊び場や野原へ出かけていき、みんなで遊びながら人や自然とふれあうとともに、春の季節を感じる。
	あきって気持ちがいいね	遊び場や野原などで散歩したり遊んだりするなかで、季節が秋に変化してきたことに気付くとともに葉や実などの自然物を使ってみんなで楽しく遊ぶ。
2	この町大すき ぼくたち町のたんけんたい	地元の商店街のお店や町の中をたんけんするなどの活動を通して、人と人とのつながりや人と地域とのつながりに気付き、地域への愛着心を育む。
	ぐんぐんのびろ げんきにそだて	野菜の栽培を通して、校外で体験したこととのつながりに気付く。
3	地域の人々とふれあおう	地域の人々とのかかわりに関心を持ち、土地利用の様子、公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くからの建造物などを観察・調査することを通して、地域の良さに気付き、愛着をもつ。
	福祉ボランティアについて学ぼう ～福祉実践教室～	車椅子、手話、視覚障害者ガイドヘルプなどの体験を通して、福祉に対する興味・関心をもつ。
	お年寄りから学ぼう	昔の道具やそれらを使っていたころのくらしの様子を調べ、体験活動を通して過去の生活における人々の知恵や地域の人々の生活の変化に関心をもつ。
4	地球のごみ問題や水と環境について考えよう	ごみ問題について考え、ごみを減量するために自分たちにできることを実践する。水問題について考え、水を大切にしていくために自分たちにできることを実践する。
	地球にやさしい町づくり	身の回りの環境に関心を持ち、自分たちの住む甚目寺地区の自然、社会環境を知り、環境をよりよいものにしていく気持ちを高める。
5	甚目寺地区の主な産業を知ろう	地域の主な産業を知り、興味をもつことによって、詳しく調べたいという意欲を高める。
	伝統産業を調べよう	地域の伝統産業について興味を持ち、「刷毛」について詳しく調べる。

	われら産業調査隊	地域の産業のいろいろな仕事に携わる人々について知る。地域と産業とのかかわり、他地域との結びつきについて理解を深めるとともに地域の産業を元気にするために自分たちにできることはないか考え実践する。
	将来の自分を見つめる	地域でがんばる人から元気をもらい、将来の自分のことを見つめる。
6	地域の歴史を知ろう	地域の歴史的・文化的遺産の存在を知ることにより、地域の歴史に関心をもち、さらに深く調べようと意欲を高める。
	地域の史跡や伝統芸能に触れよう	地域に残る史跡や伝統芸能などに触れることで、地域の歴史の深さや価値を実感し、郷土への愛着を高める。
	われら地域ボランティア	地域に伝わる伝統行事への参加体験などを通して、地域のよさを再確認し、そこに住んでいる一員として自覚と誇りを高めるとともに、地域を大切に思う気持ちを育てる。

・第2学年の生活科を中心としたE S D関連指導計画



Type of materials to be used

(使用する教材：ここでは具体的な書名やサイト名を出して、使用する教材を記述します。テキスト名の固有名詞、実験につかう器材なども記述ください。)

- ・教科書
 - わくわくせいかつ上 (啓林館) 2011年発行
 - いきいきせいかつ下 (啓林館) 2011年発行
 - めいじんブック (啓林館) 2011年発行
 - 新しい理科4年 (東京書籍) 2011年発行
 - 小学社会3・4年下 (日本文教出版) 2011年発行
- ・補助教材
 - かがやく大愛知 (愛知県社会科教育研究会尾張支部) 2012年発行
 - わたしたちのあま市 (あま市教育委員会) 2012年発行
 - あま市ものしり読本 (あま市ものしり検定実行委員会) 2011年発行
 - 仁王像修復記念 甚目寺観音展 (名古屋市博物館) 2011年発行
- ・関連 web サイト
 - あま市公式ウェブサイト
 - 甚目寺町商工会
 - あま市社会福祉協議会
- ・関連する各種団体のリーフレット
 - ハンセン病を正しく理解するために (愛知県) 2010年度版
- ・校外学習
 - 甚目寺歴史民俗資料館
 - 名古屋市五条川(焼却)工場
 - 国営木曾三川公園 河川環境楽園 自然発見館 (環境教育プログラム)

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes?

(プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法：評価の項目、評価の観点を記述します。具体例①ポートフォリオ評価により、学習活動や体験活動で使ったワークシートや作品、自己評価カードなどを累積し、児童の学習への取組状況や学習の成果を把握する。②学習のまとめとして保護者やお世話になった方々を招いて発表する機会を設定する。その際の児童の発表内容(まとめ内容)や発表意欲・態度等を観察し評価する。③児童の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように、今年度の実践をもとに年度末に年間指導計画を見直し、具体的な活動内容の改善を図る。など)

・児童の評価は、子どもに身に付けさせたい能力・態度である、「批判的に考える力」、「未来像を予測して計画を立てる力」、「多面的、総合的に考える力」、「コミュニケーションを行う力」、「他者と協力する力」、「つながりを尊重する態度」、「進んで参加する態度」の7観点において行う。各学年の学習活動とねらいから重視する能力・態度を7観点から選び、評価規準を作成し評価を行う。学習活動や体験活動で使用したワークシートやレポート、学習のまとめとして行う発表会でのプレゼンテーションや取り組みを観察したり、自己評価をさせたりして把握する。

・ESD活動については、ESD関連指導計画の実施前後に児童意識調査を行い、地域や地域の人とのつながりに重点を置いた活動の評価をする。また、各学年の学習活動に対する調査も入れる。

・ E S D活動が持続可能なものにしていくために、毎年度の実践をもとに年度末にE S Dカレンダー、年間指導計画、E S D関連指導計画および具体的な活動内容を見直し、改善を図っていく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))
Position, (役職)
Institution's name (学校名)